

オンライン授業の効果的な活用と対面授業との融合

Effective use of online lesson and integrate with face to face lesson

*牛込 裕樹¹

*Hiroki Ushigome¹

1. 大妻中野中学校・高等学校

1. Otsuma nakano Junior and Senior High School

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、多くの学校でオンラインによる授業が展開された。オンライン授業は一方的な情報の伝達に留まるものから双方向によるものまで、その方法はさまざまである。今後は何をオンラインで学び、何を対面で学ぶか、その効果的な使い分けが必要になると考えられる。また、オンラインによる学習環境は学校内に限らないため、生徒の家庭のインターネット環境などに制約されるという特徴もある。インターネット通信を用いた授業実践を行う際は、授業コンテンツのみでなく、その容量や通信速度等も配慮することが必要である。本校ではこれまでも生徒が一人一台の端末を所有し、インターネット通信を利用した双方向のコミュニケーションを取り入れた授業実践を行ってきた。今回の発表では、本校の中学校社会科地理の授業において、どのようにICTを活用し、授業をおこなっているかを報告し、今後、対面授業とオンライン授業の両面から生徒の主体的な学びをどのように養うべきか提案したい。

キーワード：オンライン授業、主体的な学び

Keywords: online lesson, proactive learning